

問 1

力のつり合い，モーメントのつり合いと力の合成の理解度を問う問題である。

問 2

矩形，三角形や円形などの簡単な形状を持つ図形の図心位置，図心軸周りの断面二次モーメントの計算式と，中空断面部材のうち外角の図形と中空部分の図形の図心軸が一致する性質を利用した図心軸周りの断面二次モーメントの計算方法に関する理解度を問う問題である。

問 3

静定ばりの支点を表す記号，支点反力，3つの力のつり合い条件を用いたそれらの求め方，等分布荷重の力のつり合いを考える場合の取り扱い，任意方向から作用する集中荷重の取り扱いに関する理解度を問う問題である。

問 4

静定ばりの支点を表す記号，支点反力，3つの力のつり合い条件を用いたそれらの求め方，任意方向から作用する集中荷重の取り扱いに加えて，断面力（軸力，せん断力と曲げモーメント）の求め方，それらを断面力図として図示する方法に関する理解度を問う問題である。

問 5

引張部材を対象として，軸力，軸力から直応力や直ひずみの求め方やフックの法則に関する理解度を問う問題である。

平成 31 年度 編入学試験問題（水理学） 出題の意図（様式案）

問 6

水理学における基礎的な用語の理解度を問う問題である。

問 7

マノメータの原理について理解度を問うとともに、基礎理論を設問の条件に適用することを問う問題である。

問 8

静水圧に関する理解度を問うとともに、基礎理論を設問の条件に適用することを問う問題である。

問 9

ベルヌーイの定理およびベンチュリー計の原理について理解度を問うとともに、基礎理論を設問の条件に適用することを問う問題である。

平成 31 年度 編入学試験問題（測量学） 出題の意図

問 1 0

巻尺を用いた距離測量での測定長計算および許容値との比較の理解度を問う問題である。

問 1 1

巻尺を用いた距離測量において発生する定誤差およびその補正について理解度を問う問題である。

問 1 2

水平角の測定における観測角からの測定角計算および較差と許容値の比較の理解度を問う問題である。

問 1 3

平板測量における現地の実距離と図上の線長の縮尺計算に関する理解度を問う問題である。

問 1 4

トラバース測量におけるトラバースの種類(形状)とその特徴についての理解度を問う問題である。

問 1 5

器高式の水準測量における既知地盤高と後視から器械高を求める計算、器械高と前視から地盤高を求める計算について理解度を問う問題である。